

特別活動 福祉講話「手話」

大和市立光丘中学校



単元（題材）目標

身体に障がいのある人の話を聞き、障がいのある人の気持ちを理解し、思いやりをもって接しようとする態度・行動を育てる。

(1) 実施時期 3月初旬

(2) 対象（学年等・人数）

第3学年生徒 308名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第3学年所属 15名

外部講師：大和市聴覚障害者協会 8名

大和市手話通訳者の会 8名



(4) 実施内容

① 委員会の生徒による送迎

・福祉委員の生徒が講師の控室に迎えに行き、コミュニケーションを図る。

② 手話体験：各学級で講話・手話実践

・各学級に大和市聴覚障害者協会講師1名、手話通訳者1名が入る。

・簡単な手話講話の学習で手話に関する基本的知識を学び、その後あいさつや自分の名前、漢字の形などを手話で表現する。

・指文字による五十音の表し方を学び、実際に行う。

★手話を使うときは、言葉を言いながら手話をするように指導した。

(5) 成果

○生徒が聴覚障がい者に対する理解を深め、コミュニケーションは音声言語の他に、手話や指文字の方法があることを学んだ。聴覚障がい者に対する垣根が低くなった。

○生徒の感想として「手話のことを自然な形で学び、あいさつや名前を伝えることができた。」や「難しいことではないのでコミュニケーションの最初の一步を踏み出していきたい。」などがあった。

(6) その他

毎年、卒業期に開催することによって、落ち着いてより深く講話を聞くことができている。